



発行所 魚津市役所 80番地
編集者 清水農政課長 安部土木課長 高島厚生課長
印刷所 魚津市下村木町 文興印刷株式会社
毎月1日・15日発行

昭和二十七年 回顧して

編集室では「一年を顧みて」と題して各課長に集つて頂いて、それら今年の特に出象深かつた事や苦心された事等について話し合つて頂きました。

出席者は 河口農務課長 村財政課長 鈴木商工水産課長 清水農政課長 安部土木課長 高島厚生課長 北條圖書館長 泉社福祉事務所長 秘書人事課一同

河口農務課長：

先づ消防機関の整備であり、大世帯の防火設備には、余りに貧弱過ぎるので不安な感じがします。幸い本年は火災害がなかつたのでよかつたが、機動力の充実と消防組織の完備は、急中の急であること痛感されました。

村財政課長：

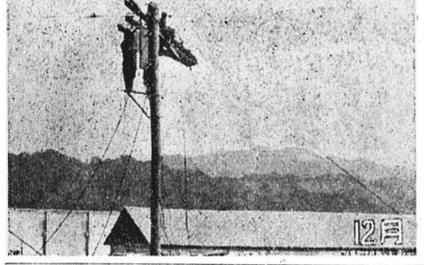
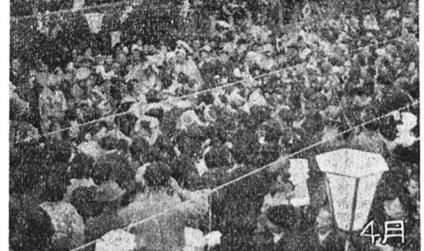
當課としては旧十二ヶ町村の地元を望むべく、予算化し、又、合併の意義を具体策を考究して、

鈴木商工水産課長

現在商工会議所と共に、

市長選挙、市議会議員選挙、金光市長の初登壇

喜びにわく祝賀踊り



高島厚生課長： 印象深いのは何と云つても大水害の折のことです。當時不眠不休で頑張つた。薬を確保して、防疫対策に万全を期したが、幸い水害に直接原因する病人が出なかつた。何より、はつとしました。遺族援護措置は他の市町村と比べて遜色ないと思つていますが、市内一日の約二千貫も出る塵埃の措置には、はつと困つています。川へゴミを捨てるのだけは止めて頂きたい。来年は是非、自動車を購入して、塵埃の回収をみましたが、幸い、強く立上つた農機は復旧にはくじやを加えておりましたが、進めやがて本年は家畜共進会や、本県下四日クラブ展示会など市民に非常な参考資料を興えたと思つています。又本市の特産として今後一層、玉ねぎ、りんご、玉ねぎなどは、のびたいものです。

安部土木課長： 市誕生直後に蒙つた大水害には全市一体となつて復興に立ち上つたことは地元民の協力で共に感激するところで、福を轉じて福とするべく頑張りたい。道路の改修、舗装の要望も多いが、予算関係でこれに應えられず心苦しい。都市計画も金屋町、電鉄線が完成したが、

泉社福祉事務所長 市全体の約五割程の生活保護者があります。温い気持ちで生活更生の方法を指導して、なかに黄ばねば損だといつた向もある様に感ぜられ充分公平な措置をとると共に家庭の自立、厚生を奨励している結果、立派に更生して居る方もあります。今市では毎月一三〇万円の生活保護と八〇万円の資料保護がありますが、二割が市の負担となるので充分調査の上で措置をとつてい

北條圖書館長： 願ひみてうれいこと、利用者の増えたと、日本中の平均をはるかに上廻り、一ヶ年八万人を越え、その上他の都市と違つて学生より一般成人の多いことは最も喜ばしいことです。寄贈圖書も多くなつて居りますし、近代圖書館の認識が高まつたわけはほんとううれい。現在の建物では老朽で且つ狭隘です、予算の関係で新しい圖書も買えず、もつと予算がほしいですね。

公平委員 委員長決る 十二月二日第一回公平委員を市役所において開催

川道計太郎氏 轉任 当地産業界の伸展に、又國鉄魚津駅改築促進委員として、或は又市体育協會長として、斯道の發展に盡力された、大きな足跡を残された川道計太郎氏は、今度東京本社に轉任されることになり、馴染深い魚津を去る十日元氣で出發されました。

開拓 (八) 上中島の部 早月川と角川との間には、さまたれた帯状地帯で、下中島と共に古來中島と称えられていました。本縣には河川の沿岸の地域で島の名の所が非常に多く、黒部川沿岸の吉島、福島、片貝川沿岸の吉島、島尻、早月川沿岸の下中島、大島、中野島、常願寺川沿岸の中島、高島等があつて、多くは川荒の跡地を開墾した所か、又川の合流間に圍まれた土地で、中でも中島は代表的な地名であります。この中島は明治二十二年町村制實施の際、上、下の兩村に分離し、この地を上中島と稱したのであります。角川の沖積層低地と早月川との間に、丘陵は早月上野と稱し、小字平均(ならし)円根(たねつぼ)の京都市からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

北信議長会 十二月十二日、十三日の二日に亘つて魚津市役所において第二十四回北信議長会を開催

急施臨時議會開催 十二月一日午後一時より魚津市役所において急施臨時議會を開催

決議 國鉄魚津駅舎並びに構内は明治四十一年に築造されたもので、その施設は老朽且つ狭小であつて、その後魚津市の進展に副はざる現況にあるため、同駅舎の改築並びに構内の擴張の早急な実現は市民の要望するところである。茲に當議會はこの市民の要望に應え、右改築並びに擴張については全面的協力を惜まずその実現の促進に邁進せんとするものである。

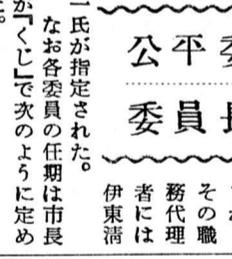
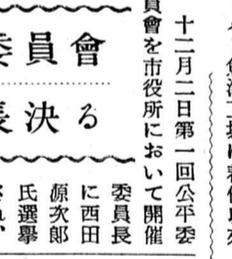
魚津市議会 十二月二日第一回公平委員を市役所において開催

公平委員 委員長決る 十二月二日第一回公平委員を市役所において開催

市教育委員選挙 十二月二日第一回公平委員を市役所において開催

戦没慰霊祭 十一月一日の靈よ安かれ

開拓 (八) 上中島の部 早月川と角川との間には、さまたれた帯状地帯で、下中島と共に古來中島と称えられていました。本縣には河川の沿岸の地域で島の名の所が非常に多く、黒部川沿岸の吉島、福島、片貝川沿岸の吉島、島尻、早月川沿岸の下中島、大島、中野島、常願寺川沿岸の中島、高島等があつて、多くは川荒の跡地を開墾した所か、又川の合流間に圍まれた土地で、中でも中島は代表的な地名であります。この中島は明治二十二年町村制實施の際、上、下の兩村に分離し、この地を上中島と稱したのであります。角川の沖積層低地と早月川との間に、丘陵は早月上野と稱し、小字平均(ならし)円根(たねつぼ)の京都市からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先



住民族が生活して来たことが想像されるので、あまりすなは、記録がないので不詳であります。西紀千年代の頃、早月川原の低地を開拓されたのが初めてで、それから二百年程の後、角川低地の出、湯上に入り、西紀千六百年頃までには各地に入つて開拓に従事したものであろうと思つています。

現在吉野にある佐伯氏は、立山開基佐伯頼の後裔で、新川郡保伏山の館に居を構えていたが、吉野の里と布施の郷とを交換して延久元年(西紀千七十年)六月吉野に移住し、養和元年(一一八〇)木曾義仲の兵火に合い、又嘉應の洪水に大方の土地を失ふことがあつた。爾來佐伯新左衛門を名乗つて、この地開拓の先驅となり、千数百年後の今日、その後裔が連絡として續いて居るのであります。

角川低地の岩高は凡そ一千百余年、前左門なるも、京都からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

角川低地の岩高は凡そ一千百余年、前左門なるも、京都からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

角川低地の岩高は凡そ一千百余年、前左門なるも、京都からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

角川低地の岩高は凡そ一千百余年、前左門なるも、京都からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

角川低地の岩高は凡そ一千百余年、前左門なるも、京都からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

角川低地の岩高は凡そ一千百余年、前左門なるも、京都からこの地に移住し、中世権名氏に仕えたと傳えられ、その当時建築された大柱は長さ三尺三寸五分、長方形の石材の上に建てられ、接合点には塩を入れ、使用した跡は、斧の痕跡と見られます。この地に、三千年前後の先

△各戸に一枚を配付します

中小企業者へ年末融資

中小企業の本市産業に占める重要性に鑑み、これが金融の円滑化は、当面の重要問題であることは、茲に説明するまでもなく、しかもその適否は中小企業のみならず、地方経済に甚大なる関係をもつものであります。

御承知の通り、経済九原則の実施以来、金融難は中小企業者の最大の悩みとなつておりましたが、最近電力事情の悪化による生産減退、更に物價の上昇などにより一段と悪化しており、特に資金需要期である年末を控えて市に於ては、諸般の対策を樹立して之を實施しつゝ、

- 一、借入金用金庫
- 二、融資の期間
- 三、融資の決定
- 四、融資額
- 五、利率
- 六、借入資格

あります。その一環として市が新川信用金庫に二百万円を預託して、これを信用金庫が四百万円にして次の要領で短期融資します。一、借入金用金庫 二、融資の期間 三、融資の決定 四、融資額 五、利率 六、借入資格

その他詳細事項は新川信用金庫で問合せて下さい。昭和二十七年十二月五日

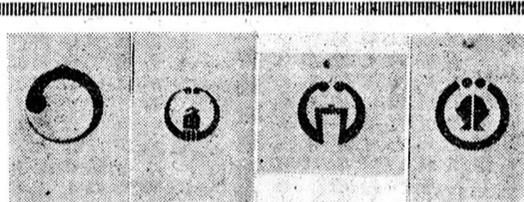
上水道水源地工事 着々進む

本市上水道事業は、曩に大光寺地内に水源地を求めて、施設の予定であったが、試堀、湧水再調査(ボーリング)の結果、水量が乏しく、水源地を余儀なくせられ、水源地を地勢の見地から片貝川上流に水源を求め、自然流下による無動力配水を行う如く計画を樹て、道坂地内の片貝川邊りに取水試験井戸を設け、湧水試験を行った結果、その伏流水が豊富で水質が良好であることが判明

1. 水源施設 集水井内径六米深さ二米 集水埋管七〇〇〇米 布設
2. 導水施設 導水管径二米管延長三、五〇〇米
3. 配水池 接合井内径三米 着水井六米深さ二米 容量二、〇〇〇立米一池減圧機を備ふ
4. 配水管 鉄管にて延長三、五〇〇米 之に要する費用は總額壹億五千七百万円余であるが、本年より水源施設工事を起し、昭和二十九年春頃に市街地の一部に給水でき得る予定である。

市徽章の入選発表

去る八月末締切つた、市徽章入選、約五百通に上る作品を斯界の權威者に委嘱して審査を進めて、過日もが、その結果一等に該當する作品なく、左の方々の作品が佳作として入選決定致しました。



- 東京都青梅市上長瀬 宇津木 松二
- 福岡縣大牟田市小濱町 山口 正夫
- 神戸市兵庫區東出町 三丁目六二 介田 茂雄
- 群馬縣草津局區内 加藤 紀文

英靈よ安かれ

【戦没一四〇柱の慰霊祭】 日清戦争以来の本市戦没者一四〇柱の慰霊祭が市主催で去る十一月二十七日魚津市安成寺で執行されました。

この日落葉の香も深い伽藍には來賓として縣知事代理松井民生部長、館縣遺族会長、縣議會議長代理等約百名に、戦没者遺族の老父母、妻子約千名がさしもの堂内をうめ、一四〇柱の靈牌は中央の祭壇に安置され、市内各寺院の住職四

十二名によつて壯嚴裡に式が厳修されました。焼香の煙靜かにゆらぐ中に、市長の式辭が述べられ、次いで來賓の追悼文が讀まれ、英靈の追悼文が讀まれた。最後に金光市長の熱涙こもる挨拶があげられ、感極まつて涙にむせぶ老母もあり、遺族の慰霊の言葉に感激の涙にうつつす妻の、かさざりけなない姿もみられ、重畳の聲は冬の陽ざしの中に融けて午後一時まで續いた。

寫眞は式辭をよむ金光市長

新年祝賀交歓会

昭和廿八年の新春を迎えるに當り、市では市民相互の親睦をはかり、擧つて新春を誇ぐため、左の通り新年祝賀交歓会を催します。参加御希望の方は、どなたでも御申込下さい。

- ◎ 申込期限 十二月廿日迄
- ◎ 申込について 注意
- (イ) 名刺調整の都合上期限後の申込みは受付致しません。
- (ロ) 會費は申込みと同時に納めて下さい。
- (ハ) 官公衛會社、事業場にあつては市役所秘書人事課又はその地區支所へ、個人にあつては部落廣報員を通じて申込み下さい。

去る十二月七日、市遺族會婦人部の主催で母子の會が下野方支所會議室で開かれました。参加した明年三月新中、高校、大学を巣立つ若人約五十名と、その母を前にまづ黒瀬市遺族會長の挨拶があり、次いで金光市長が「健かに社會へ 母子の會」の題で、希望ある明るい生活を送ることが出来る。明年は一生懸命仕事に勉強に明け暮ることは、諸君等自身を社會になくしてはならぬ存在にする。世の中の爲に働くという考えで、元氣に、すなを希望と強い信念をもつて母ととも、頑張つて下さい」と述べ、伺されたお母さん方には「おまの言葉を送りそれから記念品の授與、記念撮影などあつて午後魚津職業安定所松田課長、吉田工業株式會社事務、小坂機業代表並に高校、新中の各先生方将来を懇談、午後二時半閉會しました。

市政日誌

- 十一月二十六日(水) 魚津電報電話局舎移轉披露式に市長出席
- 十二月七日(木) 市主催戦没者追悼法要を安成寺に於いて執行、市長安部土木課長坪野一、魚津線道路視察
- 十二月八日(金) 平澤助役舊臨時總會に出席のため富山に出張、市議會商工水産委員會開會、市議會農林委員下立流水客土を視察
- 十二月一日(月) 急務臨時市議會開會、松倉地區市勢振興委員會開會
- 金屋町一、本江町道路貫通並に鴨川橋竣工地元主催竣工式に市長出席
- 十二月二日(火) 市公平委員會開會、堂水見市長來市
- 十二月三日(水) 農業協同組合併統合協議會を縣主催の下に大町小學校に於いて開會
- 十二月四日(木) 市教育委員會開會、昭和廿八年度予算編成について打合
- 十二月四日(木) 魚津線改築促進委員會開會
- 十二月五日(金) 江場富山地方裁判所長新任挨拶のため來市
- 十二月七日(日) 市連合青年團模範市議會に市長出席
- 十二月九日(火) 市遺族會の母子會を下野方支所に於いて開會、市長出席
- 十二月九日(火) 工場設置要地接衝委員會開會
- 十二月十日(水) 農林省小川技官、鹿熊線道視察のため來市、市支部總會出席のため上野、平澤助役供米補正の件につき富山へ出張
- 十二月十日(水) 市營住宅選衝委員會開會

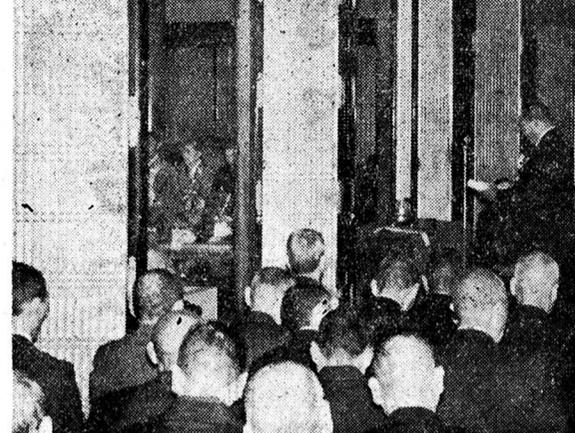
無線通信士養成講習生募集 漁船乗組員の高い教養が要望せられ、特に近時無線士の必要が高まつてきて、魚津市では左記要領によつて、電話無線士養成講習會を開會することになりました。受講者は相當の経費が必要なので、船主に雇傭されているものは至急船主に了解を得られ一人でも多く、受講され希望の程度を高める機を、又市内ラヂオ取扱者もこの機会に参加をお奨めします。

固定資産税...第三期 12月25日まで 忘れないうち納めませう...

納期は 12月25日まで



毎月第一、第三、土曜日の晩に市内唯一の定期文化行事として市民のみなさんに親しまれて、最近、最近一ヶ月間に希望された演奏曲目や作曲者などをみると、希望演奏曲目では、交響曲及び交響詩曲が九曲、獨奏曲が十二曲、協奏曲が七曲、室内楽六曲、組曲及びパレエ曲七曲、歌劇(全曲)一曲、序曲管弦樂一曲、三二曲となつて、マニチ舞踏曲九曲、輕音樂三曲、作曲者別では、フォースター六曲、チャイコフスキー四曲、ベートルズ三曲、シューマン、シューベルト、シヨマン、サンサーンス、コルサコフ、ガリ



◎ 日時 昭和廿八年一月元日 午前七時

◎ 会場 魚津西部中学校新講堂

◎ 会費 一人につき百円

★市民の御座り下さい 例年のように年末年始の臨時休館を次のようにいたします。十二月廿八日より一月四日まで 向五日より平常通り開館いたします。

★市民の御座り下さい 例年のように年末年始の臨時休館を次のようにいたします。十二月廿八日より一月四日まで 向五日より平常通り開館いたします。